

札幌社保協 FAXニュース

2012年 2月23日(木)
社保協事務局 発行
Tel 823-0867 Fax 821-3701
E-mail: s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者医療110番は
3月29日(木)です

白石区民のいのちとくらしを守る運動の先頭に！ 白石区社保協が再建総会開催

2003年以来活動が中断していた白石区社保協の再建総会が、2/18に各団体から39人が参加して開かれました。

第1部では「社会保障と税の一体改革の実態」を札幌社保協斉藤事務局長が講演し、学習をしました

第2部では準備会事務局長の勤医協柏ヶ丘・今さんが議案提案し、この間の再建に向けたとりくみ、白石区での姉妹孤独死事件に触れながら白石での社保協再建の意義を強調しました。

－活発な発言で今後の活動への決意示す－

伊藤りち子市議～姉妹の孤立死と生活保護行政の問題点について、菊水子ども診療所～重症児の在宅支援を支える会の活動、東部民商～国保料滞納と無年金の業者の事例、白石守る会～姉妹死亡事件での保護課への申し入れ、札病～無料低額診療制度の事例と生活保護、老健～介護報酬改定の実態、勤医協在宅～高齢者の状況と高齢者住宅問題、年金者組合～最低保障年金実現の活動、新婦人～「愚痴も磨けば要求」を合言葉に活動、など各団体からの豊富な発言が相次ぎました。

総会では議案、予算案、役員案を全員一致で承認し、代表委員に細川誉至 雄札幌病院副院長、工藤一成東部民商副会長、児玉健次道革新懇代表世話人、今英紀事務局長（老健柏ヶ丘）と3人の事務局次長などを選出。加入団体は新たに勤医協在宅を含め、19団体となりました。

閉会のあいさつに立った児玉新代表委員は、衆議院議員当時25年前の白石母親餓死事件を国会で取り上げたことに触れながら、「白石の社保協が再建でき本当に良かった。皆でがんばりましょう」と述べました。



白石区姉妹孤独死を考える 2.26緊急シンポジウム

2月26日(日)
10時～12時

菊水ビル4階大会議室

<シンポジスト>

佐藤宏和道生連事務局長
伊藤りち子市議会議員

ほか

参加費：無料

保育料値上げ、児童クラブ有料化は、 子育て支援にならない

保育団体などが 値上げ反対の陳情



保育料の10%値上げ、児童クラブの有料化に反対する関係団体は2/21に市議会へ陳情を提出し、記者クラブで記者会見を行いました。札幌保育連、保育労組、建交労学童保育支部、新婦人、道生連、豊平・中央区区民要求の会などは支部・単組などを含めて110余りの値上げ反対陳情をこの日までに提出しました。3/23市議会予算特別委員会で審査予定です。

木下保育連会長は、①他の政令市並みに上げると言うが札幌市民の所得は政令市比較では低い方である、②パブリックコメントでは値上げ反対が多いのに紹介せず、広報では賛成論と反対論を載せている、③まだ決まってもいないのに値上げについての案内を保育園を通じて配っている、などの問題点を指摘。保育労組・新婦人・道生連の代表からは、「子育て世代の若い親の収入が下がり苦しい生活なのに、保育料を上げるのはおかしい。これでは子育て支援の街にならない」と厳しい声が出されました。

－おかしな児童会館児童クラブの有料化－

建交労学童保育支部の原委員長は、児童クラブの有料化案が当初より変わったものの、朝8:00～8:45と18:00～19:00に通う子供は月額2000円にするという案を批判、無料化を維持すべきと主張。この方式では児童クラブ登録以外の朝早く来る子供と残っている子どもを安全上排除できる筈がなく、矛盾が広がるだけで全く現実的ではないと指摘しました。